

広報

のほろべつ

主な内容

- 即戦力に求人殺到—日本工学院北海道専門学校……………2 P
- 最後の木造体育館改築工事順調に…3 P
- 青少年の健全な育成を願って…4・5 P
- 郷土史探訪87富浦町Ⅲ……………6 P
- 「ユネスコの集い」が開催されます…7 P
- 無料で縦覧—固定資産課税台帳…………8 P

● No. 388 ● 昭和59年2月15日発行 ● 発行/北海道登別市 ● 編集/総務部公聴広報課 ● 印刷/日光印刷



百歳の誕生日おめでとう

小池田 ちいさん

登別市内の最高齢者、小池田ちいさん（登別東町2～40～2）が1月26日、満百歳の誕生日を迎え中浜市長から毛布の誕生日プレゼントを手渡されました。

ちいさんは明治17年、石川県の生まれで、12歳の時、両親とともに北海道へ移り住みました。孫が14人、ひ孫10人を数えるちいさんは、現在、二男の忠二さん家族と同居しており、耳が遠いほかは健康そのもの。夏の間は、自宅近くの散歩が楽しみの一つです。

食事も日に3度きちんと食べ、中浜市長の「元気でなにより、おばあちゃんが市内では一番の長寿ですよ」のお祝いの言葉に笑顔で応えていました。

百歳を迎えるお年寄り、市内では20年ぶりのこと。明治、大正、昭和を生きてきた小池田ちいさんにみなさんも暖い祝福を。

2. 15 '84

即戦力に求人殺到

日本工学院北海道専門学校

登別市の学園都市構想の第一弾として、昭和五十七年四月に開校した日本工学院北海道専門学校は、早くも第一期生の卒業時期を迎えようとしています。不況風が吹きまくる道内外の経済状態のなかで、高校、短大、専門学校、大学など、今春卒業予定者の就職内定状況は、たいへん厳しいものがあるとマスコミなどで伝えられています。今号では、これらの厳しい就職戦線のなかで、特筆すべき同校の順調な求人状況や、就職内定状況についてお知らせします。また、新設されたメカトロニクス科についてもお知らせします。

**一人当たり求人倍率 二四倍
就職内定率 八〇%**

日本工学院北海道専門学校は、将来を担う中堅技術者の養成を目標に、昭和五十七年四月、全市民の熱烈な誘致運動が実って開校しました。

今や同校は、学校教育法による専門学校設置基準をはるかに上回る、充実した教育内容と設備を誇る理想のキャンパスとして、道内外から注目を集めています。この理想のキャンパスへ昭和五十七年四月に入学した第一期生は、二年間の勉学を終了し、三月には第一回の卒業式を迎えることになりました。

ここで最も気になるのが卒業予定者の就職内定状況です。同校の船場就職相談センター課長さんにお話しを伺ったところ、非常に見通しの明るい状況にあることがわかりました。

まず求人状況ですが、一月末現在で二、八五九社八、五七七人の求人があり、就職希望者一人当たりでは八社二十四人となっています。これは他の専門学校などが非常に厳しい就職戦線にあるなかで、突出した求人数といわなければなりません。同校卒業予定者に対する各企業の期待の大きき、関心の高さがよくわかります。

次に就職内定状況ですが、道内では、有力企業に名を連ねる北電、拓銀、ホクレンなどに二二三三名。本州企業で、将来道内での勤務が可能な道内関連企業に八四名。本州企業では、大林組、熊谷組、三井建設など大手建設業界をはじめとして七一一名が内定し、合計では二八八名にのぼっています。

新時代の要請に応える メカトロニクス科

同校では、昭和五十九年度の学生を募集しています。各学科別の募集学生数は別表のとおりで、全体では六百八十名となっています。

このなかで、今までの七学科に加えて新たにメカトロニクス科が増設され、専門教育に一層の充実が図られることになりました。

メカトロニクス科といっても、一般にはなじみのうすい新しい分野の教育です。この内まに

いて若干ふれてみます。現在、各企業では、ロボットによる無人化工場も出現する産業界の動きに対応するため、多くの技術者を必要としています。このなかでも特に機械工学、電子工学、情報処理工学などを修得した幅広い技術者が不足し、その養成が強く望まれています。

メカトロニクス科は、このような産業界の要請に応えるため、人



同校の就職相談センターは、労働大臣許可の「無料職業紹介所」です。就職指導や各種奨学制度の紹介指導などをしており、専任職員が常時親切に学生の相談に応じています。

これは、同校就職希望者数の約八〇パーセントにも及んでいます。就職試験の第二のピークが二月であることを考えると、最終的には完全就職が確実視され、同校のレベルの高さ、就職に対する有利さが実証されたといえます。

さらに、これらを結合したシステム(知能機械)についても学び、これまでの学科では学べなかった広範囲な技術領域を扱うメカトロニクス技術者を養成するための学科なのです。

昭和59年度 各学科別募集学生数

情報処理科	160名
ソフトビジネス科	80名
情報工学科	40名
電子工学科	120名
電気工学科	80名
建築学科	80名
土木工学科	80名
メカトロニクス科	40名

日本工学院北海道専門学校正門前



最後の木造体育館 改築工事順調に

市では、小中学校の老朽校舎や危険校舎の解消、更には、障害児教育施設の充実など、教育環境の整備に全力を挙げてとりにくんでいます。現在、市内最後の木造体育館だった、幌別西小学校の体育館改築工事が進められており、これが完成すると市内小中学校々舎は一部を除き、ほぼすべて永久校舎化されることとなります。

幌別西小学校は、市内で九番目の小学校として昭和二十七年に建築されました。その後、児童数の増加に伴って増築を重ね、現在の鉄骨鉄筋コンクリート造の校舎に建て替えられたのは昭和五十四年です。

同校の体育館は、昭和三十三年に建設された木造の建物で、老朽化が進んだうえ、児童の増加によって手狭になっていました。そこで、昨年十月から、この体育館を解体し新体育館の建築を進めているものです。

新しい体育館は、鉄骨鉄筋コンクリート造千四百平方メートルで、旧体育館の約一・五倍の広さがあります。設備では、バレーボールコートが二面もとれるアリーナのほか、長さ二十五メートル、奥行き五メートルのステージ、更衣室、器具庫、男女トイレなどがあります。また、勤労青年や地域のスポーツ活動の場として学校開放をするため、玄関ホールも設けられています。

事業費は約一億四千五百万円で既に大部分の工事が終了、今月末には完成の予定です。

この体育館が完成し、昭和五十九年度で登別中学校の増改築事業を実施すると、市内小中学校の木造校舎はすべてなくなり、百パーセント永久校舎になります。これは全道都市のなかでもトップレベルです。他の都市が木造校舎解消事業のため、特に税金(固定資産税)を引き上げて実施しているなかで、当市では市民の負担増なし

で達成した快挙でもあり、市民と取り組んできた結果として、当市が一体となって教育環境整備への誇りともいえるものです。



白老小学校の言語治療教室。マンツーマンでの治療が行なわれており、登別市内から6名の子供たちが通級しています。幌小に言語治療教室が完成すると、この子供たちも、ここで治療を受けることができます。

言語の障害児に朗報

幌小に言語治療教室

市内には、肢体不自由児のための訓練施設として「のぞみ園」があり、身体に障害を持つ子供たちが訓練に励んでいます。言語の発達が遅れたり、発音に障害がある子供たちのための治療施設はありませんでした。

これらの障害のある子供たちは、言語についての特別な治療を受けることなく、市内の普通、特別教室に通っていたり、白老町や室蘭市の言語治療教室に通ったりしていたのです。

市では、みんなが平等に暮らせる街づくりを進めるため、いろいろな事業を行ってきましたが、昨年の暮れから、このような言語に障害を持つ子供たちのため、幌小小学校に言語治療教室の開設準備

を進めています。この事業は、同校の家庭科室など三教室を改修して言語治療教室に衣替えするもので、三重の防音壁に囲まれた二つの指導室、マジックミラーで隔てられた観察室を備えるプレイルーム、職員室などからなっています。四月には担任の先生も決まり、言語の指導や訓練のための装置が備えられます。

市内には、言語治療の対象となる児童、生徒が二十四人いますが就学前の幼児も対象にしています。考えで調査を進めています。同教室の実質的なスタートは六月頃になる予定ですが、これによって、障害児に対する施設が一層充実されることとなります。

奨学生を募集します

登別育英会

- 財団法人登別育英会では、高校、高専、専修、大学に在学中の方で、人物、学業ともに優秀であって、経済的理由により就学困難な方のため、五十九年度の奨学生を次により募集します。
- 出願の資格
 - 登別市民の子弟
 - 他から奨学金を受けていない方
 - 身体強健、学術優秀、品行方正、思想堅実で学資に乏しい方
- 募集予定人員 高校、高専、専修：若干名 大学：四名
- 給与月額 高校生(五千円) 高専生(八千円) 専修生(一万円) 大学生(一万五千円)
- 提出書類 奨学金給与願書、奨学生推せん書、家庭状況調査書、収入証明書、市長証明のもの、健康診断書、成績証明書、住民票(出願本人のもの)
- 願書提出期限 三月三十一日
- 願書の提出先 〒059103 登別市富士町七丁目三十三番地 登別市民会館内 財団法人登別育英会事務局
- 問い合わせは、登別育英会事務局 (☎1100内線20)へ

少年の健全な育成を願って

たちの写真をご覧

ように心身ともに社会人として成長

っています。現在低年令化・

る暴力・喫煙など3のピークを迎え

行概況(室蘭警察の補導数が大幅に

増加している状況です。

非行防止には、特効薬はありません。

子どもたちが健全に育つために、今こそ市民一人ひとりが、それぞれの立場で考え、お互いに学びあい、連携を深めて非行防止に取り組むときではないでしょうか。

市内には、青少年の健全育成活動にたずさわっている方が大勢います。

今号では、その中から5人の方にお話を聞いてみました。

増え続ける少年非行

より良い環境づくりを

室蘭警察署がまとめた、昭和五十八年中の少年非行概況によると、同署管内(室蘭市・登別市)の補導数は、二千二百二十一人で、前年と比べると六百八十人(四十四%)もの急激な増加を示しています。

そのうち、登別市に居住し、補導された少年は、七百五十一人のぼっています。また、年令別(下記グラフ参照)に見ると、中学生の非行が増加し、低年令化が進んでいることがわかります。

特に当署管内では、万引き、深夜はいか、喫煙などで補導される少年が増えています。こうした深刻な事態を、母親が一体となって未然に防ごうと、登別市PTA連合会による第二回婦人研修会が二月一日開かれました。この研修会には、市内のお母さん約百六十名が参加され、青少年の健全育成をはかるための母親の役割を学び、お互いの連携を深めていきました。これらの積極的な活動を、私たち一人ひとりが地域社会に広げて



全市をあげて健全育成

登別市青少年問題協議会委員 野口正充



中学生の非行が、大きな問題となっています。それは中学校の指導が特別悪いわけではなく、小学校あるいは、それ以前の家庭教育や、地域、友達関係などによって形成されたものが思春期である中学生の時期に表面化したのでは、ではどうしたら、やはり家庭が基本であり、親子の語り合いが

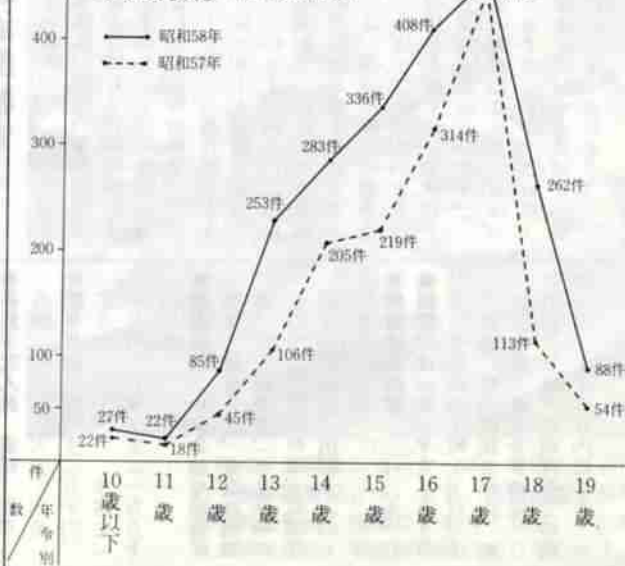
理解できる母親に

登別市PTA連合会理事 新井節子



現在、子どもたちの非行が大きな社会問題になっていますが、これは、子どもだけが悪いわけではなく、親にも責任があるのではないのでしょうか。母親の中には、甘やかし、怒ら

少年非行等の補導年令別状況(室蘭警察署管内)



危険信号は

子どものそぶりに

あなたのお子さんに、こんなことがありませんか。

- ① 酒やタバコを吸う
 - ② スル休みが多い
 - ③ うそを言う
 - ④ 言葉づかいが荒くなる
 - ⑤ 服装や持ち物がはでになる
 - ⑥ 電話がたびたびかかってくる
 - ⑦ 学校へ行くのをいやがる
 - ⑧ 帰宅時間が不規則
 - ⑨ お金をねだる
 - ⑩ 落ち着きがない
- これらが危険信号です。すでに非行の道に踏み出しているかも知れません。こんな時、母親にまかせず、父親もしっかりと子どもと対話することが大切です。

青少



元気に遊んでいる子ども
ください。

すべての青少年が、この健康で明るく、次代を担うしていくことをだれもが願う。しかし、青少年の非行は粗暴化が進み、中学生による非行を中心に、戦後、第

つつあります。当市でも昭和58年少年非行(署名作成)によると、青少年

子どもを信じすぎないませんか

補導委員 笹田喜悦

私も、補導員の仕事にたずさわって八年ぐらいいました。この間、色々な少年非行のケースを見たり、取り扱ってきても、痛切に感じることがあります。それは、非行の起きている家庭のほとんどの親が、子どもの言うことをあまりにも信じ過ぎていて、ということなのです。

子どもに接している方が以外に多くいると思います。

子どもの気持ちを理解できる母親になることが大切だと思います。

子どもは、決して親に自分を悪くいわない、悪い事をしても人のせいにします。大変いやな事なんですけど、ときとして子どもを疑ってみることも必要ではないでしょうか。

例えば、子どもが新しいゲームを持って遊んでいた。子どもから話を聞き、それをうのみにするのはなく、一歩踏み込んで確認する気持ちを持つことが、非行の未然防止に結びついて行くことになると思います。

子どものしつけとは

民生委員 小林立雅子

今の子どもは、我慢ということをしらないで育っていると思うんです。ですから、自分の意志通りに物が事がいかなかったり、気に入らないことがあったら、すぐにイラ立ち、そのはけ口をまわりの人にぶつけます。こうしたことの原因には、親の

しつけにも問題があると思います。そのためには、親自身も子育ての考え方をしっかり持ち子どもと接しなければなりません。忙しい毎日を送っていても、以外と時間は取れるものです。例えば、夕食の時に、一日の出来事を話題にして、子どもと打ち溶け合ったり、また、戸外に出て一緒に汗を流すこと。

それらが、青少年という不安定な時期にあたる子どもたちにとって、もっとも大切なことではないでしょうか。くと思います。こうした子どもが、立ち直るには親と子が共に信頼し合うことが大切ではないですかね。

ともに信頼し合って

保護司 大山博基

少年が非行に走る原因として考えられることは、家庭における母親の存在が非常に大きいということです。それは、強がっている心の中では親の愛情を求めているからです。また、親が友達を服装などの外見で判断し批判することによって子どもを傷つけ、親への反発となって非行につながって

観察を受けていた少年が、車を買おうと働き、蓄めた貯金通帳を持って親に保証人を頼みに行った。親の「よくやった」の一言で少年は立ち直り現在もハリキって働いています。私たちが、立ち直ろうとしている少年を温い目で見守る気持ちを持たなければならぬと思います。

一活用ください

青少年

補導センター

当センターは、青少年の非行を未然に防止し、健全に育成することを目的として、青少年の補導に関する諸活動を総合的・計画的に行うための活動拠点として設けられたものです。

市内には、六十二人の方が、センター補導委員として市長から委嘱されています。これら補導委員の方は、不良行為や非行を犯すおそれのある青少年を早期に発見するための街頭補導や、環境浄化の活動を行っています。

また、青少年センター(Ⅷ⑧1100内線22)には、二人の専任補導委員を配置し、各種非行問題の相談をお受けしています。



ふれあい 広場

今月のテーマ
私の余暇の過ごし方

ます。そして、いつのまにかイビキをかいて寝ています。少し体を動かした方がよいのに」と言っても場の耳に伝ひません。でも、本好きの主人に感化されたのか私も暇をみては、主人の本棚から本をひっぱってきては読書に励んでいます。

(柏木町・主婦・鈴木芳枝)

家族とのふれあい

子どもの相手、買物のつきあい、実家へ帰省、掃除など…。これが私の余暇の過ごし方です。平日は、仕事が頭から抜けきれない状態があるので、休みには家族とのふれあいが第一と考えています。家族でデパートに行き、あれこれと言いがながら買ひものをしたり、実家へ行き近況を報告する。たまには旅行もしますが、こんな平凡な時間が私にとっては、自分を振り返ったり、みつめたりするとても貴重な時間なのです。仕事に追われていると、つい自分を失いがちになりますが、平凡な家族とのふれあいの中に私は大切な余暇を感じる次第です。

夫の影響で私も

私の夫の余暇は、寝ることと本を読むことにつきます。酒もタバコもまったくやらない主人は、いつも「疲れた、疲れた」と言っている時は、ただ、ただ本を読んでいます。休日には、ふだんと同じに起き、朝食をとってからおもむろに本を開き、自分の世界に入ってしまう。

考えた余暇

私の冬の余暇は、ワカサギ釣りに始まってスキー、スケートなどに費します。日曜の朝、寒さをしのぐため完全装備で白老のボロト湖に出かけ、昼からファミリーゲレンデのカルルススキー場へ行き、帰りは温泉でくつろぐ。どこか、旅行会社のコマージュルめいていますが、私はこんなパターンで余暇を過ごしています。

これからは、週休三日制などで休日の増える傾向にあります。

んな場合、余暇をうまく使いこなせなければ、逆にストレスになってしまふような気がします。また、本を読み仕事以外の知識を蓄えなければならぬ現代社会でもあるのではないのでしょうか。余暇の過ごし方、もっと考えたと思っています。

(桜木町・会社員・吉田拓也)



余暇はもうヨカ

一月八日の日曜、家族でショッピングに行こうと仕度をしていたところ、突然、弟から電話がはいり四ヶ月になる赤ん坊を3時間だけみてくれと頼まれました。私たちが断わり切れず、泣々引き受けたのですが、あまりいい予感がしなかったのは妻も息子も一緒でした。

突然の来訪者である赤ちゃんに私たちは、ショッピングは昼からでも遅くないとのぞき込んでいたところ、予感はずり当りました。想像を絶する赤ちゃんの「ウギヤー」が始まったのです。私たちは、なだめたり、あやしたり懸命に最善の手をつくしました。そして、やっと寝かしつけ、引き取りにきた弟の「これからお出かけ」の一言にグツタリ。

家族みんなの意見でショッピングは中止にしましたが、突然の来訪者、本当に疲れました。

(若草町・会社員・岡林明)

郷土史探訪

87 富浦町Ⅲ

昔の伝承を訪ねて

富浦町二丁目の平野地をすっぽり取り囲んだ山際の北側、静かなたたずまいの中に富浦神社があります。創立は明治三十三年六月ですが、創立当時の神社の場所は現在地と異なり、一丁目本通り登別漁業協同組合西側隣り、松浦商店宅の裏側の一段高くなった所で、現在、栗の木が茂っています。

神社への道は、松浦氏宅から北へ少し上り西に向けた短い登り道で、祭りの余興も神社から見下ろすと松浦氏宅の裏畑で相撲を中心部に部落の人達で賑わいました。その後、神社周辺に家も増加し神社の敷地も狭いので現在地に移されましたが、保食神の他に金毘羅大神を祭っているのが漁業の町、

富浦町にびびったりです。金毘羅宮と言えば、発生は文武天皇の七百一年という古い時代にさかのぼりますが、讃岐の金毘羅さんとして特に江戸時代、その名声は日本全国に響き、読みものが大衆をもてはやし、文人墨客が訪れ、大名も参勤交替の折に立ち寄るほど有名になりました。

金毘羅は、梵語（古代インドの文語）でクンビラ・鯨魚、仏教では竜王・海神と言って海難の時の祈願にこたえてくれる守護の善神であり、水産の町富浦町に金毘羅さんをお祭りしたということも当然です。

その富浦町に金毘羅宮を祭るようになったのは、四国讃岐（香川県）から明治十六年に移住した山下茂市さんが開拓の苦労も報われた明治四十年、赤檜勘作、合田勝次、大西荒次さんらとともに開拓記念碑を建立し、現在の富浦町五丁目の山際に登別石で二十数段の立派な階段をつくり高台に神殿を安置したことに始まります。十月十日が祭りの日で、この頃、神殿のある高台から見える前浜では鮭や鱈が毎日大漁であったと言われますが、この後に御神体が富浦町一丁目に移され現在に至っています。

これは水難の時のウボボ「坐歌」として幌別地方に伝承されていた歌で、知里真志保先生の集録したものです。

水難と言えは昭和二十五年、登別沖で戦時中の浮遊機雷に部落民の漁船が触れ、四人全員が死亡するという事件もありましたが、昔は水難の時、浜辺に人々が大勢集まり、男は刀を抜いて振りかざし、一歩ごとに刀を前に突き出しては引きつけ、また前に出す。悪魔払いの呪術的踏舞行進をしました。江戸期から幌別場所の海産物、俵物の生産地として知られる地にこのような風習が残されていたことを想像しても、これが漁業の町富浦の地であれば不思議ではないことでしょう。



旧富浦神社跡をバックに82歳の松浦治太郎さん

残念な事は、五丁目、山下氏の所有地内にあつた神

殿跡・開拓記念碑は、昭和五十五年登別市を襲った大集中豪雨の際、崖崩れの土砂とともに大部分が流出したことです。漁業の町富浦町を古くから訪ねると、考古学的遺跡もありアフリパロの伝説やワツカオイ、そして悪魔払いのウニエンテの風習も残っていたことを富浦生れで八十二歳の松浦治太郎氏から伺っています。

海の上で、フ・アラ・オー
雄の小鳥が、フ・アラ・オー
ふんどしふりふり
助けを求めている
フ・アラ・オー

浜の砂原の上でフ・アラ・オー
雄の小鳥が、フ・アラ・オー
大地ふみふみ泣き叫んでいる
フ・アラ・オー

これは水難の時のウボボ「坐歌」として幌別地方に伝承されていた歌で、知里真志保先生の集録したものです。

水難と言えは昭和二十五年、登別沖で戦時中の浮遊機雷に部落民の漁船が触れ、四人全員が死亡するという事件もありましたが、昔は水難の時、浜辺に人々が大勢集まり、男は刀を抜いて振りかざし、一歩ごとに刀を前に突き出しては引きつけ、また前に出す。悪魔払いの呪術的踏舞行進をしました。

江戸期から幌別場所の海産物、俵物の生産地として知られる地にこのような風習が残されていたことを想像しても、これが漁業の町富浦の地であれば不思議ではないことでしょう。

登別市郷土文化研究会
宮武 神一記

「ユネスコ」の集いが開催されます

「ユネスコ」とは、世界の平和と人類の福祉を教育、科学、文化の分野を通じて世界中の人々が協力し実現しようとする目的をもって組織する国際連合の機関です。

市内にユネスコ協会は設立されていますが、皆さんにユネスコの活動を少しでも理解していただくため次のとおり「ユネスコの集い」を開催します。皆さん多数のおこしをお待ちしています。

▽日時 2月25日(土)午後1時から。

▽場所 市民会館

▽講演 「国際協力について」
講師は、昭和55年から3年間、マレーシアのボルネオ島で青年海外協力隊として活躍された富



浦町在住の志賀典子さんです。

▽映画 ユネスコ活動について

▽研究協議 登別市内におけるこれからのユネスコ活動について

※詳しくは、市教育委員会社会教育課へお問い合わせください。
(TEL 1100)

登別温泉三大名勝めぐり 歩くスキーの集いを開催します

皆さんに冬の大自然の中で体を鍛えていただくため次のとおり歩くスキーの集いを開催します。多数ご参加ください。

▽日時 2月26日(日)午前9時30分から受付。

▽集合場所 登別パラダイス前

▽コース・距離 地獄谷から倶多楽湖展望台折返し/7キロメートル(所要時間約1時間30分)

▽参加資格 年齢、性別を問わず自由に参加できます。ただし、小学校4年生以下は引率責任者を必要とします。

▽参加料 無料

▽携行品 着替、防寒具、予備手袋、昼食、ワックス、ゴーグル、またはサンダラス、スキーは歩くスキーまたはレース用スキー

▽参加する方は次のことに注意ください。

○参加者は自己の責任において参加し、途中の安全を充分留意してください。

地域スポーツリーダー研修会

「ご参加ください」

市教育委員会では、次のとおり地域スポーツリーダー研修会を開催します。多数ご参加ください。

▽日時 3月4日(日)午前10時～午後3時まで。

▽場所 総合体育館

▽対象・募集人員 スポーツクラブ指導者、登別市体育協会の各加盟団体指導者と会員/50名

▽内容 ウェイトトレーニング、ストレッチングに関する理論と実技。

▽申込方法 総合体育館へ3月1日(木)までに申し込みください。

ビデオカメラ技術講習会

市民会館

文化協会視聴覚研修会では、市民を対象に16ミリ映写機操作・ビデオカメラ撮影技術講習会を開催します。お気軽にご参加ください。

▽日時 2月24日(金)午後6時～

○青少年活動に関心をもち、帰国後の成果を積極的に生かして得る人

▽申込先 登別青年会議所事務局

JC青年の船 参加者を募集

登別青年会議所では、国際協力事業の一環として、青年の育成と国際的な相互理解を目的に実施しているJC青年の船の参加者を次のとおり募集します。

▽期間・航路 6月19日～29日までの11日間/横浜→香港→台中

▽募集人員 4名

▽募集期間 2月10日～29日

▽応募資格

○原則として年齢満20歳から30歳までの男女

○就職内定証明書を添付できる方は2月29日まで。

○就職未定者は、2次募集分の3月30日正午まで。

(面接)

○2月29日までに出席した方は、3月6日午後3時30分から。

○2次募集分は、3月30日午後3時30分から。

※詳しくは、登別高校定時制課程に電話でお問い合わせください。
(TEL 2911)

定時制生徒を募集します 登別高校

(TEL 1468)

※申込方法など詳しくは、青年会議所事務局へお問い合わせください。

登別高校定時制では五十九年度の生徒を次のとおり募集しています。

(出願資格)

○中学校またはこれに準ずる学校を卒業した方。

○本校で中学卒業と同等の学力があると認められた方。

(出願期間)

○就職内定証明書を添付できる方は2月29日まで。

○就職未定者は、2次募集分の3月30日正午まで。

第9回 市民憲章推進会議

市民憲章は明るく豊かな地域づくり、人づくりを目的に皆さんのご理解とご協力16年目を迎えるとしています。

今年は、「憲章の心で築くひかるまち」をテーマに皆さんの活発な意見交換を期待しています。お気軽にご参加ください。

▽日時 2月26日(日)午前10時30分から

▽場所 市民会館

▽講演 「市の青少年の健全育成について」
登別市教育長・安田麻夫

▽分科会 第1分科会…あいさつ運動の推進について、第2分科会…市民憲章と婦人の役割、第3分科会…環境美化運動の推進について

第24回 登別市内婦人大会

登別市婦人団体連絡協議会では青少年の取り巻く諸問題を考え、婦人の役割を認識しようとして今年も登別市内婦人大会を開催します。お気軽にご参加ください。

なお、当日は登別市教育長の安田麻夫先生の講演が行われます。

▽日時 2月23日(木)午前9時30分～午後3時まで。

▽場所 市民会館(中ホール)

▽参加料 350円(昼食を含む)

※お問い合わせは、市社会教育課登婦連事務局へ。(TEL 1100内線21) また、当日は託児室の用意があります。

開通しました

北海道ソーダ踏切

幌別七丁目、千歳町四丁目附近にお住いの皆さんから、強い要望が出されておりました。北海道ソーダ踏切は、関係機関の協力によりまして、二月一日竣工し、二月二日から既に開通していますのでご利用ください。

しや断機や警報機などは完備してはいますが、通行にあたっては、左右確認を励行し、事故のないよう十分注意願います。

踏切事故を防ぐために

踏切でエンスト、故障が起きたら踏切事故報知機、発炎筒を使用してください。

踏切でのダンブ荷台の下げ忘れや積載高さのオーバーは事故につながります。上部の高さ制限を守りましょう。



焼死者事故を防ぐために

火災が発生しやすい時期です。悲惨な焼死者事故を防止するため、次の点に注意しましょう。

- 身体不自由者や老人は、避難しやすい場所に寝かせましょう。
- 出入口に避難の障害となる物は置かないようにしましょう。

- 外出するときや就寝するときは必ずストーブを消しましょう。
- ストーブのそばに洗濯物を干さないようにしましょう。
- ガスの使用時に、その場を離れる時は消してからにしましょう。
- 寝タバコは絶対やめましょう。



市民のこころ

ふれあう心の合言葉

一、未来をつくる青少年の、健全な夢の育つまちをつくりましょう。

無料で縦覧

固定資産課税台帳

固定資産課税台帳の縦覧は、地方税法によって納税者の皆さんに固定資産の価額をお知らせするとともに、異議申し立ての機会を保障するものです。

▽日時 3月1日～21日まで(日曜・祝祭日は除く) 午前9時～午後5時10分(土曜は12時まで)

▽場所 課税課資産係窓口(支所では縦覧できません)

▽縦覧できる台帳 土地課税台帳、土地課税補充台帳、家屋課税台帳、家屋課税補充台帳、償却資産課税台帳

▽対象者 納税義務者およびその家族(本人・家族・法人の代表)

予防接種

● 三種混合(百日せき、ジフテリア、破傷風)

▽対象者 生後24ヵ月から48ヵ月未満の幼児

▽接種の方法 第一期：3週間から8週間の間隔で3回接種。第二期：一期終了後12ヵ月から18ヵ月までの間で1回接種。

● 麻しん(はしか)

▽対象者 生後12ヵ月から42ヵ月未満の幼児

▽接種の方法 1回接種

※満一歳になりしだい各家庭へ麻しんの受診券を送付していますので、各自、病医院で接種を受けてください。なお、受診券が届かなかった方は、保健衛生課へご連絡ください。(TEL 2111内線249)

● 接種上の注意

▽子供の健康状態の良い時に接種する。

者以外の方がこられたときは、委任状が必要です。

▽持参する物 印鑑

※期間中は、無料で縦覧できます。詳しくは、課税課へお問い合わせください。(TEL 2111内線230)



健康相談

▽実施月日 3月1日：警別公民館 3月2日：労働福祉センター 3月23日：婦人センター

▽受付時間 午前の部：10時～10時30分 午後の部：1時～1時30分

▽内容 午前：成人病、妊婦、家族計画、幼児(7ヵ月児を除く)の各相談。午後：7ヵ月児相談(58年8月出生児)

▽用意するもの 母子健康手帳、バスタオル

※婦人センターでの健康相談は、午前中に午後の分も合わせて行います。

3歳児健康診査

医師、歯科医師、保健師、栄養士による3歳児健康診査を実施します。

月日	会場	受付時間	対象地区
2月29日	警別公民館	10:00～11:00	警別、美園、土警別
		13:00～14:00	若草、新生、栄、富厚、大和、若山3・4丁目
3月14日	労働福祉センター	10:00～11:00	富士、片倉、新川、榎木、緑、若山、川上、青葉、若山1・2丁目
		13:00～14:00	観別、常盤、中央、柏木、千歳、礼内、新栄、幸、米島
3月28日	婦人センター	13:00～14:00	登別温泉、中登別、登別南、登別本、富厚、登別港、カモルス、土警別

※健康診査は約2時間位かかります

献血にご協力を

次の日程で街頭献血が行われますので、皆様のご協力をお願いします。

◎ 3月2日(金) 午後3時45分～4時30分まで イーストショッピング前



「腰痛」をテーマに健康教室を開催します

北海道・室蘭市医師会

北海道医師会では「医学の成果をあまり道民へ」の理念のもと、骨髄の老化現象と結びつく腰痛、また病状というよりも種々の疾病の一つの症状として起こる腰痛をテーマにとりあげ、次のとおり健康教室を開催します。

家庭で簡単にできる腰痛体操の実技指導も行いますので、皆さん多数ご参加ください。

▽主催 北海道、北海道医師会、室蘭市医師会、室蘭市、登別市

▽日時 2月25日(土) 午後1時30分～3時30分まで

▽会場 室蘭市東町4丁目3階・室蘭市東町4丁目6(沙見交差点、電報電話局向)

▽講演 登別厚生年金病院院長・札幌医科大学名誉教授(整形外科)河部文一郎先生

▽実技指導 札幌医科大学衛生短期大学理学療法学科助教 授宮本重範先生

▽入場料 無料(入場整理券を發行)

※入場整理券は市役所保健衛生課、各支所窓口、または市内の各医療機関で用意しています。お問い合わせは保健衛生課へ。(TEL 2111内線250)

● 今月は、国民健康保険税第6期の納期です。